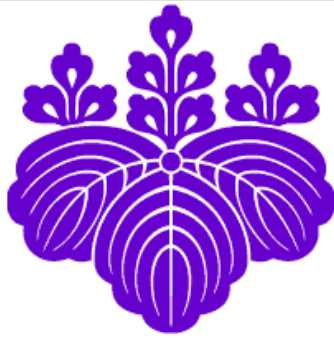




茗溪 かながわ

MEIHEI KANAGAWA

NO.5

発行 神奈川茗溪会（旧 茗溪会神奈川支部） 発行者 清水進一

平成 26（2014）年 9 月

神奈川茗溪会定期総会を開催

豊かな発信力を持つ単位組織を目指して

恒例開催の神奈川茗溪会総会が7月5日（土）、横浜中華街のロイズホテル横浜にて行われました。今回は清水進一会長と矢野正人事務局長が欠席の中、来賓として川田孝一理事にご臨席を頂き、総会43名、講演会49名、懇親会59名の参加者とともに盛會裡に日程を終了しました。

午前11時の総会開始に先立ち、昨年度総会以後に計報を頂いた9名の物故者への黙祷の後、細谷俊一副会長（s 47教大生化工）代行による会長挨拶、続いて川田理事により来賓ご挨拶を頂きました。

神奈川茗溪会の存在感

川田理事は、グローバル人材育成を目指す母校筑波大学の動向に触れ、茗溪会の存在感をアピールするとともに、神奈川茗溪会が全国でも屈指の単位組織であり、とりわけ教員に限定しない組織となっている点、豊かな発信力を持つ点で、他の都道府県を大きくリードする存在であるとの認識を披露されました。

春秋の叙勲者紹介

栄えある叙勲者に列せられた京野勝（s 40教大農化）、須山英治（s 40教大日史、川田孝一（s 39教大農総）、齋藤俊英（s 40教大哲学）の各氏の紹介、出席3名よりご挨拶を頂いた後、記念品贈呈を行い

ました。

議案と報告

続いて議事が行われ、3件の協議事案について満場一致で承認されました。中でも、会計報告及び予算案において、会計監査役の新設と今後の会計運営の方向性について報告がありました。また、第3号議案において、役員の入れ替えについて承認され、齋藤俊英氏（s 40教大哲）他6名の副会長が顧問に、また坂本紀典氏（s 51教大健教）他4名が新たに副会長に就任することとなりました（詳細は4ページに掲載）。議案承認後、佐々木悦子副会長（s 46教大体）より一般社団法人茗溪会平成26年度定時総会報告がありました。

講演会 ～ 県民との共存 を目指す神奈川農業

総会に続き、12時10分より恒例の講演会が行われました。今回の講師は、かながわ農業アカデミー校長の北尾一郎氏（s 53教大農）。大学時代に果樹を専門に研究された関係から、県農政部の研究機関であるかながわ農業アカデミーで農業指導に携わってこられたとのことで、講演会では思いのほか知られていない神奈川県の農業の実情と特徴などを中心にお話をされました。新規就農者の状況や県民農業への期待も含め、日ごろ窺う

ことがない情報をたくさん頂くことができました。

桐の葉は木に朽ちんより

講演会の後は、恒例の懇親会に座を移しました。開会の辞では、山村比呂志氏（s 40教大教）から「茗溪会は校長の集まりだと思っていたが、誰でもウェルカムということで、楽しみにしている」と、神奈川茗溪会の新しいあり方を示唆するご挨拶がありました。筑波の新卒会員3名の参加があったほか、初めて出席という若手会員の姿も何名かあり、和気藹々たる歓会となりました。

《文責 佐藤教道（s 56筑人文）》

茗溪会懇親会に参加して

加藤将（H17筑院教）



昨年に引き続き2回目の参加となりました。昨年の懇親会では、県内同窓の先輩方が教育界を中心に関界で活躍する姿に圧倒され、お話を伺うのを躊躇してしまいましたが、そこで昨年の反省から今年は、多くの先輩方にお話を伺うよう心掛けました。お話を伺った先輩方一人ひとりが温かく迎えて下さいました。仕事上の悩みや相談、



助言などを同じ教育界で活躍されている先輩から聞くこともできました。同窓会という場で、普段なかなか接することのない先輩方から気軽に話を聞けるのも、時代は違えど同じ空間を共有した同窓だからだと再認識しました。中には、院生時代の恩師の同級生も知られ、恩師の学生時代の一端を知ることができました。そんな思い出が語れるのも同窓会の楽しさなのかも知れません。

また、今年は3月に卒業した新卒者3名も出席しており、7月下旬に再訪する予定の筑波大学の最近の様子を聞くことができました。残念なことに、いつも情熱を持って若手に激励を下さる清水会長、矢野事務局長にお会いすることができませんでしたが、来年は、会長、事務局長と再会するとともに若手を含めた更に多くの参加者の出席を期待しつつ、参加の報告とさせていただきます。

神奈川茗溪会の新潮流

神奈川茗溪会総会欠席のお詫びとお願い

神奈川茗溪会会長 清水進一（s43教大数）

まず初めに、お詫びを申し上げなければなりません。

去る7月5日（土）に開催いたしました「神奈川茗溪会総会」には、必ず出席しなければならぬ私が、欠席をしてしまいまして大変申し訳なく、深くお詫びを申し上げます。

会員の皆さんには、是非、出席してくださいと強く申し上げてきましたので、何とか総会だけでもと思いましたがそれも叶わず、本当に申し訳ありませんでした。

さらに、事務局を牽引している矢野事務局長も欠席ということ、ご出席の皆様には多大なご迷惑をおかけいたしました。幸い若い事務局のメンバーが団結して会の運営にあたったこと、ご出席の皆さんのご協力によりまして、盛会であったと報告を受けまして、改めて神奈川茗溪会の良さというものを再確認した次第です。

当日は、昭和23年東京高等師範卒業の大先輩から本年3月に筑波大学を卒業して神奈川県の教員に就任したばかりの若き後輩まで、

多くの皆さんのご出席をいただき、誠にありがとうございました。

特に、「茗溪かながわ」を発売してから、今まで出席されていなかった方々が出席されるようになり、うれしい限りです。

また、本県に新規採用された皆さんは、昨年の教員採用試験の2次対策に参加した人たちで、総会にも出席してくれてうれしく思うとともに、これから神奈川茗溪会の一員として先輩たちと仲良く、また、切磋琢磨して活躍してくれることを祈っています。

このたびの総会の議事といたしまして、事業や会計の他に役員の改選があり、ご承認頂きましたが、さらに、4号議案の活動の活性化として、いくつかご提案させていただきました。ご提案されたが、会長、事務局長の事情で役員会等での議論ができなかったなど準備が間に合わず、提案を来年にしようと考えているものがある点があります。

その内容の一部が茗溪会本部が7月に発行した季刊誌「茗溪」



夏号（no1082）の12頁13ページに掲載されていますので、是非、ご一読いただきたいと思います。

趣旨といたしましては、本部の「拡充キャンペーン」を受けて神奈川県の活動もさらに充実していきたいという思いから書かせていただきました。

神奈川茗溪会として、①会員の増加策、②活動のための収入の増加策をいかにしていけたらよいかという視点で、本部の事業を利用しながら、また、本部にも提言しながら推進していけたらと思っています。

今後、1年間をかけて事務局や役員会で議論しながら、来年の総会でご提案させていただきます。よろしくお願いいたしますので、よろしく願ひ申し上げます。

さらに、本部のホームページも刷新されたことをきっかけとして、神奈川県のページも充実していきますので、是非、ご覧いただきたいと思います。

茗溪会に寄せて

佐々木悦子（s46教大体）



「茗溪会」の魅力は、まさに「人」だと実感しています。

私かながわ茗溪会のお手伝いをさせていただくようになったきっかけは、お世話になった先輩からお声をかけて頂いたから。それだけです。お役に立てなかった場面も多々あったかと思われませんが（うちの大学の諸先輩は大方、寛容・寛大です）、いつも、そのまま丸ごと受け入れて下さり、育てて下さいました。

先輩方には、身近に接する職業人としての尊敬も勿論ありましたが、人としての魅力で、当たり前のようについて行った気がしています。尊敬する先輩方なので、恐れ多くて気楽に仕事上の相談などできませんでしたが、居て下さることが、大きい安心感に繋がっていたと思われまます。

茗溪の水で育まれたという共通項。同じ茗溪の故郷を持つ仲間、先輩・後輩。それだけで、無条件で、親身に声をかけてくださる関係がありがたく貴重でした。蛙が故郷の川に必ず戻って来

るように、私たちも、帰るべき故郷に自然と心が向いて、今は先輩方にして頂いたことを、自分もさせて頂きたくなる、そんな心境を味わっています。

そして、今、かながわ茗溪会を通して、改めて、優秀な仲間、先輩とも繋がりが強くなり、嬉しく、ありがたく思っています。

定年退職をして、組織と離れて五年が経過しましたが、それまでよりもさらに、「人」を大切にしたいという思いが強くなってきたように思います。在職中はそれぞれの職場で、仕事の目的を達成するために、チームプレーに必要な、互いの信頼に基づく職業人としての能力や人柄を表わす「人」に目が向いていました。人材育成についても、組織にとって有用な人を育てるという視点でした。しかし、今は、その人の価値観や人柄そのものに純粋に、魅力を感じます。そして、卒業後の自由な日々を、魅力ある人々とお付き合いさせていただける幸せを心からありがたく感じています。

茗溪会の仲間の皆さんとは、長い月日を経ての「今」なので、飾ることもなく、冗談を言い合える関係にも、感謝しています。

そんな、いつも自然に身近にいてくれた組織であることに、やっと、気が付いた感じです。私も、どうか、故郷の川に戻れたようです。

特集 筑波大学今昔

学生宿舎の思い出

西塚 祐一（S55筑体育）

私は、昭和51年筑波大学の3期生として、体育専門学群に入学しました。筑波大学でサッカーがやりたいという思いで、筑波の門を叩いたのです。

筑波での大学生活のスタートとして印象深かったのは、学生宿舎に入居したことだと思います。私が入居したのは、追越22号棟205号室（今は女子棟になっているのですが）です。宿舎は新築で入居者第1号ということになります。しかし、居室はベッドや机等はあるものの、日用品もまだ買い揃えていなかったのが、がらんとした寂しい部屋でした。鉄の扉が監獄のような感じもしました。また、何よりもそれまで一人で生活したことがありませんでしたので、今日の夕食はどうしようか。明日からの食事はどうしようかと思ひ悩み、我が家の有り難さが痛感され、早くもホームシックになるような状態でした。しかし、心細い思いをしたのもその日限りで、すぐに同じ宿舎のサッカー部仲間と自炊生活が始まり、事なきを得ます。もちろん、夕食だけではなく当番制で食事を作り合い、徐々にメニューも増えていきました。

それから、宿舎にまつわる思い出話として、当時は、平砂と追越宿舎の間に旧道があり、関東鉄道のバスが通っていました。つくばエクスプレスが開通する前は、筑波大学に来るには、土浦駅から関東鉄道のバスに乗り、30分以上もバスに揺られて大学に来ていたのも隔世の感があります。実は、そのバス通りに、夜になるとマイクロスパスの居酒屋が赤提灯を下げて営業していたのです。大学の敷地内でどうしても疑問ですが、当局が純粹培養の筑波大生に社会勉強させようと黙認していたとの噂もありました。私も何度かお世話になったものです。その後、大学周辺にも飲食店や居酒屋が少しずつ増え初め、いつしかマイクロスパスも見かけなくなりました。

私は、2年間この宿舎にお世話になりました。その後、一ノ矢学生宿舎に半年ほど、そして、大穂町で1軒家を借りて、3名のサッカー部員でルームシェアする生活を行い、4年間の筑波でののかな学生生活を無事過ごすごうできました。

写真（右下）は、4年次に球技研究室でサッカー部の仲間たちと撮ったものです。私は前列左。前列中央に仰向けになっているのが現日本サッカー協会副会長の田嶋幸三氏です。



サッカー部の仲間たちと（球技研究室にて）

変革と躍進を続ける筑波大学

―東日本大震災を経て―
大城 省吾（H26院教体）



私は、平成20年教育研究科教科教育専攻に新設された保健体育教育コースの1期生として入学しました。筑波大学大学院への進学を意識したのは、私の大学の恩師からの「研究に没頭するなら筑波がいいぞ」の一言でした。私の卒業した大学は現場主義で、実践

的なことは多く学べましたが、研究手法を学んだことはありませんでした。大学時代、書物を読み漁りながら独学で勉強していく内に教育の奥深さを知り、教員になる前に教育学を研究したいという思いと、恩師からの奨めもあり筑波大学大学院への進学を決めました。

私が筑波に入学してまず驚いたのが、充実した設備が多くあることでした。各種競技の専用グラウンドや体育館、研究室も競技ごとに設置されており、他大学から進学した私にとっては何もかもが新鮮でした。図書館では研究に関する書物が多数揃えられており、勉強や研究に没頭するには何となく過剰感がありました。明け方近くまで研究室に残り、仲間と研究に打ち込んでいたあの頃を懐かしく思います。

そんな素晴らしい環境である筑波を、私が修了した一年後の平成23年3月、あの東日本大震災が襲いました。総合体育館の外壁破損や多数の建物のガラス窓の破損、中央図書館や各種専門図書館では書物の落下や床下浸水、各研究機関の高度な研究設備の損壊など、あらゆる施設が多大な被害を受けました。しかし、現在の筑波は着実に復興が進み、平成25年には新総合体育館が完成しました。東日本大

震災からの復興は続くと思いますが、これからも注目していきたいと思っています。

現在、私は神奈川県公立高校で教鞭をとっています。神奈川県教育に携わり感じることは、筑波の繋がりの強さです。昨年、教員採用試験の二次対策を神奈川工科大学の清水先生をはじめ多くの先輩方にお世話になり合格することができました。

情報化社会の中で常に変革と躍進を続ける筑波。一方で昔から今も変わらず繋がりを大切にする筑波。僅か二年という短い筑波での大学院生活でしたが、私に多くの経験と繋がりをもたらしてくれました。

写真は新しく建設された新総合体育館の内部の様子です。



筑波大学新総合体育館

会員の皆様より

今年も総会の案内に多数のご返信をいただきました。ありがとうございます。頂戴したお葉書の中から、掲載のご了解をいただいたものを紹介させていただきます。

▼皆様のご活躍頼もしく存じます。大正生まれがんばりましょう。

(大野勝寛様 S 21 大教)

▼現在八十三歳。元気で看護専門学校で非常勤講師を勤めております。

(木谷要治様 S 32 教大院教育)

▼退職後、平成十年から年一回、日本歩き旅を楽しんでいます。今年は五月に十一泊十二日で、小田原から中部地方を横断して、富山駅まで歩いてきました。

(梅川正誠様 S 29 教大物理)

▼現在 NPO 法人「かながわ子ども教室」で理科好きの子どもを育てる活動を行っています。そのような場があれば、ぜひ紹介して頂きたいと思えます。

(大濱眞理子様 S 35 教大化)

▼昨年三月東京農大を定年退職し、現在名誉教授として少し講義を継続しています。その他、講演と月刊雑誌「食生活」に毎月連載執筆しています。

(中西載慶様 S 47 教大院農)

▼会社で北極海航路担当になりました。一月に出張でノルウェーのトロムソに行きました。緯度は南半球なら昭和基地と同じです。

(合田浩之様 H 15 筑院ビ)

事業報告

▼神奈川の教員採用二次試験対策

「特訓・特訓・特訓」

例年神奈川茗溪会は、神奈川県教員採用試験の一次試験合格者の筑波大生を対象に、二次試験対策の集中講座を八月上旬に行っています。昨年はこの講座に参加した8名の筑波大生が全員合格という素晴らしい成果を生みしました。台風11号の影響で強い風雨の中、8月9日・10日の両日に渡り、本厚木駅近くの会場で模擬授業や面接などについて丸二日間の講座を実施しました。今年は4名の後輩たちが「特訓」に「参戦」しました。

講師は茗溪のOGやOBの皆さん方を中心をお願いしました。講師のきめ細かく、また厳しい指導の下、あつという間に時が進んでいきました。何度も繰り返される「特訓」に参加者たちはそのリアルさと一層深まる教師への夢を確信したようです。

後日談となりますが、講師の皆さんは筑波大生たちの優秀さを感じたりと感取っていたようです。口々に「素晴らしい後輩たちを持つて幸せです」と語っていました。



初日の夕方、「団結と激励」を兼ねた懇親会を開催しました。

神奈川茗溪会役員人事 (1 ページ記事を参照)

- 《顧問に就任》 齋藤 俊英 (s40 教大哲)・石塚 崇 (s41 教大農)・落 信久 (s43 教大體)・早野 通哲 (s43 教大國)・矢島 博 (s45 教大體)・大島 恵子 (s46 教大植)・矢野 正人 (s53 教院農)
- 《副会長に就任》 坂本 紀典 (s51 教大健教)・望月 正大 (s51 教大理数)・小泉 いづみ (s51 教大體)・山崎 紀彦 (s53 教大農)・山田 和彦 (s53 教大経)

(敬称略)

叙 勲 おめでとうございます

■平成 25 年秋の叙勲

瑞宝双光章

川田 孝一 氏 (s39 教大農総)

■平成 26 年春の叙勲

瑞宝小綬章

京野 勝 氏 (s40 教大農化)

瑞宝小綬章

須山 英治 氏 (s40 教大日史)

瑞宝双光章

齋藤 俊英 氏 (s40 教大哲)

情報コーナー

◆平成 26 年度若手交流会開催のお知らせ

平成 24 年度に発足した神奈川茗溪会若手交流会在 26 年度は 11 月 15 日 (土) 18 時より、横浜スカイビル 11F の「大陸」で開催されます。平成卒業 (修了) の方々のご参加をお待ちしています。

参加申込み等は、若手交流会発起人まで。email : wakate@kanagawa-meikei.org

○住所変更や不明会員の情報などありましたら、事務局または地区委員までお知らせください。

事務局長 矢野 正人 (s53 教院農経) 080-5410-9149 E-mail : yano@kait.jp

川崎地区【川崎市】

委員 西村 宗一郎 (s51 教大植) 045-362-7010

委員 南 敏章 (s52 教大数) 045-945-2086

横浜地区【横浜市】

委員 佐々木 悦子 (s46 教大體) 045-784-0670

委員 望月 正大 (s51 教大数) 045-812-0281

横三・湘鎌地区【横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、三浦郡、茅ヶ崎市、藤沢市、高座郡】

委員 鈴木 彰 (s49 教大地) 0467-52-5354

委員 瀬木 明 (s52 教大応数) 090-1040-3612

平秦・西湘地区【平塚市、小田原市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、南足柄市、秦野市、伊勢原市】

委員 細谷 俊一 (s47 教大生化工) 0465-77-2046

委員 井出 真理子 (s47 教大英) 0463-71-1191

北相地区【厚木市、海老名市、綾瀬市、大和市、座間市、相模原市、愛甲郡、神奈川県外】

委員 大島 恵子 (s46 教大植) 042-715-0317

委員 本木 幹雄 (s50 教大健體) 090-3817-3402

会員 訃 報

*昨年度総会以降

落合 壽 氏 (s26 文四)

中川 温 氏 (s28 文理)

上木 永生 氏 (s27 大漢)

堀江 澄男 氏 (s23 理四)

今坂 晃 氏 (s25 大國)

小林 信廣 氏 (s39 大経)

本庄 寛 氏 (s25 大英)

岩崎 亀久雄 氏 (s24 農教)

佐々木 良 氏 (s28 大東文)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます